

コンテンツ判定基準評価項目	(1)日本の民主主義を考える事業	(2)北東アジアの平和構築に向けた事業	(3)世界の課題解決に向けた事業
①その分野の活動の目的の明確性	<p>本事業の目的は、世界中で民主主義が危機に直面する中、民主主義を機能させていくために、有権者本位の政策選択を軸とした議会制民主主義を機能させ、そのための「民主主義のインフラ」の整備をすることである。こうした事業は、特定の政治的な立場を超越した活動であって、予め特定の政治的立場に立った議論形成方式ではないことが明確である。</p> <p>29年度は、10月の衆院選挙にあたり、主要7政党のマニフェスト評価を公表すると同時に、主要5政党の政策責任者とマニフェスト評価委員との討論と、動画とテキストで公開した。さらに、安倍政権4年10カ月の実績評価、並びにそれに伴う有識者アンケートを実施した。マニフェスト並びに政権実績評価は、幅広い有識者からなる評価委員会を組織し客観的な評価を徹底するとともに、評価基準を公開し、透明性・公平性を明確にし、その過程における議論の内容は全てウェブにて公開されており、同様に透明性と明確性が確保されており、有権者への客観的な判断材料の提供に徹している。</p> <p>さらに、平成29年度はアジアの民主主義に関する世論調査を日本、インドネシア、インド、マレーシア、韓国の5カ国で実施し、その調査結果を基に民主主義の課題について対話し、国境を越えて民主主義の危機を乗り越えていくことの意義を議論し、また、設立16周年記念フォーラムでは民主主義の将来と言論NPOの役割を考えており、国内外の民主主義を立て直しについての議論しているが、こうした活動も事業の目的に合致している。</p>	<p>本事業の目的は、北東アジアでは国民間のナショナリズムが、政府間レベルの課題解決の障害になり、この地域における政府間外交にこの間、何度も空白を生み出す状況の中、民意に基づき、多くの市民の支持を得て課題の解決に取り組むというアプローチが有用であり、この地域の課題に取り組む政府間外交の環境づくりが必要だと考えているからである。こうした目的は、言論NPOがこれまで行ってきた、「第13回東京-北京フォーラム」「第5回日韓未来対話」「日米中韓4国対話」に加えて、29年度は初めて実施した「日米対話」でも語られており、活動の目的は非常に明確であると考える。</p>	<p>事業の目的は、世界が直面する課題を、世界を代表するシンクタンクと日本の有識者が日本を舞台に議論を行い、それを世界に発信する議論のプラットフォームであり、議論の成果をG7の議長国や日本政府、国際機関に対して提案することである。こうした事業の目的は明確に示されており、国際社会の課題の解決に向けて世界に発信する言論の舞台をつくるという団体設立当初に掲げたミッションに基づいている。</p> <p>平成23年度から継続している世界シンクタンク会議、CoC(カウンスル・オブ・カウンスルズ)への参加に加え、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、カナダのG7各国にインド、ブラジルなどを加えた10カ国の世界を代表するシンクタンクのトップが東京を舞台に議論する常設対話の場である「東京会議」の2回目を開催した。ここでの議論は日本語と英語で発信されており、世界に向けて日本の主張を届けるとともに、日本国内においても有権者が国際問題について幅広く考え議論する場づくりとして定着し始めている。</p> <p>こうした事業は、健全な輿論をつくるための、公表された目的の下に行われている。</p>
②その分野の活動に当たって言論NPOが掲げて立つ立場の明確性	<p>①で記載した評価活動については、広く有権者が、日本が直面している課題を認識し、その課題をどのように解決するために政治が有権者に向かい合っているかを明らかにし、投票に際しての判断材料を提供するためのものである。そのため、政策の供給者である「政党」の側ではなく、政策の受益者である有権者の立場に立脚している。</p> <p>さらに、海外との事業についても、世界中で民主主義自体が挑戦を受けている中、各国の民主主義の問題点を洗い出し、さらに発展させるためにどうすればいいか、質の高い議論形成の舞台を国境を越えて作り上げるという立場に立って本事業を行っていることが明確に公表されている。</p>	<p>質の高い議論形成の舞台を国境を越えて作り上げるという立場に立って本事業を行っていることが明確に公表されている。</p>	<p>質の高い議論形成の舞台を日本国内に形成し、その議論を世界に発信するという立場に立って本事業を行っていることが明確に公表されている。</p>
③その分野の活動のターゲットの明確性	<p>本事業のターゲットは、有権者である日本国民である。アンケート調査やウェブ論壇に見られるように発信対象が特定されておらず、また、昨年度は有識者約333人を対象としたアンケート調査も参考にして評価を行うなど、各界様々な立場の者が参加する形で議論形成方式も取り入れており、特定の政治的な主張の場として利用されない構造となっている。</p>	<p>本事業では、各国の国民、並びに各界の識者をターゲットとして、対話での議論や世論調査の結果が広く伝わるが必要であるとされており、ターゲットは明確である。</p> <p>対話について、日本の各界の有識者たちに参加を呼びかけ、経済界、学界、官界、政界関係者、マスコミなど、幅広い分野から多くの人たちがフォーラムに参加している。さらに世論調査結果も含め、日本、中国、韓国を始めとする主要メディアで広く報道されるなど、日本の各界の有識者等や、一般の方々への周知、発信されている。</p>	<p>CoC会議の参加報告や米国人らとの議論内容や、国際シンポジウムでの議論内容は、言論NPOウェブサイトでも広く一般に開示されている。また、本事業について、主要メディアで報道されている。ウェブサイトでは、英語で海外へ幅広く発信し、世界に日本を伝えるという、発信目的と発信先対象が明確である。</p>
コンテンツ判定基準評価項目	(1)「日本の将来を提案する」言論として実施する事業	(2)「日本の民主主義を立て直す」言論として実施する事業	(3)「言論外交の挑戦」として実施する事業
④その分野の活動に当たっての主要なコンテンツ形成活動に係る方法論の明確性	<p>評価作業については、平成21年度より言論NPOは「評価基準」を公開し、特定の政治勢力とは独立した一定の基準の下に評価を行ってきた。29年度に行われた、「政権実績評価」は、従来と同様に、公表済みの「評価基準」に基づいて分析評価を行ったものであり、コンテンツ形成活動に係る方法論の明確性は確保されている。</p> <p>海外識者との議論についても、一定のルールの下に自由な討議形式で議論形成を図り、内容は何らかの形で公開されるといった方法論が予め明示されている。政治的な恣意性が入る等の問題点は認められない。</p>	<p>一定のルールの下に自由な討議形式で議論形成を図り、内容は何らかの形で公開されるといった方法論が予め明示されている。政治的な恣意性が入る等の問題点は認められない。</p>	<p>本事業では、CoC会議での発言の準備や、国際シンポジウム開催の過程において、言論NPOのアドバイザーボード・メンバーや言論NPOの議論作りに参加する幅広い有識者へのヒアリングを行った。一定のルールの下に自由な討議形式で議論形成を図り、内容は何らかの形で公開されるといった方法論が予め明示されている。政治的な恣意性が入る等の問題点は認められない。</p>
⑤その分野の活動の方針決定に係るガバナンス及び透明性			
ア.編集権の独立が確保されているか	<p>代表工藤泰志が評価作業の全てにわたり、最終稿をまとめ、独立したエディター機能が保障されている。また、議論についても国内外の関係者と打ち合わせながら、独立的に議論プロデューサーとしての機能を発揮しており、独立性は確保されている。</p>	<p>代表工藤泰志が、中国・韓国・米国側や日本側の関係者と打ち合わせながら、独立的に議論プロデューサーとしての機能を発揮しており、独立性は確保されている。</p>	<p>代表工藤泰志が、日本国内の有識者や海外のシンクタンク関係者と打ち合わせながら、独立的に議論プロデューサーとしての機能を発揮しており、独立性は確保されている。</p>
イ.その分野の活動の方針決定が、そのメンバー構成が特定の政治的・宗教的立場に偏していない何らかの合議制機関(理事会or編集委員会、その他)の議決の下になされる仕組みが機能しているか	<p>言論NPOの「言論活動等」全般について、毎年度の総会での議決が行われ、その重要方針については全て理事会で諮り承認されており、また「アドバイザーボード会議」にもかけ、承認されている。</p>	<p>言論NPOの理事会、及び「アドバイザーボード会議」の協議と合意を経て意思決定がなされている。また、「第13回東京-北京フォーラム」に向けては、各界有識者等による実行委員会が組織され、中国側指導委員会と協議しながら活動の方針決定が行われた。さらに、本事業の指令役として「アジア平和会議」準備会議を立ち上げ、事業御方針を決定している。</p>	<p>言論NPOの理事会、及び「アドバイザーボード会議」の協議と合意を経て意思決定がなされている。また、平成28年2月に設置されたワールド・アジェンダ・カウンスル(WAC)が設置され、その委員間の協議により活動の方針決定が行われた。それらの活動方針は幅広く公開されている。</p>
ウ.当年度のその分野の活動のミッションや目的が関係者によって共有されているか	<p>「政権実績評価」は従来より行われてきた政策評価活動の一環であり、そのミッションは関係者によって常に共有されてきた。理事会に報告され、言論NPOに参加する有識者にも周知されており、ターゲットに対するその公開性についても、ウェブや団体パンフレットでミッションが明らかにされている。</p> <p>また、国内外識者との議論においても、言論NPOの機関決定、すなわち、総会、理事会での議決や承認の下に行われている。事業実施にあたっては、各国識者および日本側の参加者との間で協議が行われ、ミッションの共有が図られている。ターゲットに関するミッションの公開性も上記①目的の明確性に記載した通り、十分満たされている。</p>	<p>本事業は、言論NPOの機関決定、すなわち、総会、理事会での議決や承認の下に行われている。事業実施にあたっては、東京-北京フォーラムについては中国側(中国国際出版集団、中国国务院新聞弁公室等)、日韓未来対話については韓国側(EAI)、アメリカとの協力団体(カーネギー国際平和基金、ヘリテージ財団等)の間で頻りに協議が行われ、ミッションの共有が図られている。ターゲットに対するミッションの公開性も上記①目的の明確性に記載した通り、十分満たされている。</p>	<p>当該活動は、言論NPOの機関決定、すなわち、総会、理事会での議決や承認の下に行われ、ミッションの共有が図られており、健全な輿論をつくり、それを幅広く世界に伝えるという合意がなされ、協力体制が確立されている。ターゲットに対するミッションの公開性も上記①目的の明確性に記載した通り、十分満たされている。</p>
コンテンツ判定基準項目	(4)会員等向けフォーラム、(5)ウェブ論壇・海外発信	B. その他、「言論活動等」の実施に必要な諸活動	
①その分野の活動の目的の明確性			
②その分野の活動に当たって言論NPOが掲げて立つ立場の明確性	<p>該当する2つの事業は、言論NPOがかねてより、①フォーラム等の議論の場、②インターネット、③出版事業の3つの手段を有機的に組み合わせて「三位一体の言論空間」を創出するとして対外的に説明してきたものを構成する要素である。この言論空間で形成されたコンテンツは、いずれも、前記(1)～(3)の「言論活動等」と一体不可分のもの、従って、これら3つの「言論活動等」については、前記(1)～(3)に係る評価結果がそのまま適用される。</p> <p>付言すれば、「三位一体の言論空間」そのものの態様は、5つのコンテンツ判定基準のいずれをもクリアするものであることは、十分に明らかである。</p>	<p>平成29年5月22日と24日に、当組織の職員が、その立場を使って、職員8名に対しては職場内で、また理事に対してはメールで政党の都議選での選挙活動のために個人情報収集の依頼を直接行った。こうした行為については、就業時間外に行ったことだったとしても、政治的、宗教的な中立性を大前提に事業を組み立てている組織の社会的な名誉、信頼を傷つけるきわめて重大な行為と考えている。</p> <p>そこで、6月28日付で当該職員に対する減給処分、並びに、理事長の役員報酬返上、事務局次長への厳重注意の処分を行い、組織における政治的中立性の重要性を再度、職員へ周知を行った。</p> <p>今回の職員の行動によって、言論NPOの活動や作成する主要コンテンツが、直ちに政治性を帯びるには至っていない。言論NPOの活動については、前述の(1)～(3)の全ての活動において目的やターゲット、言論NPOの立場が明確化しており、かつ、代表工藤泰志のプロデュースのもと、理事会、及び「アドバイザーボード会議」の協議と合意を経て意思決定がなされており、政治的な恣意性が入る等の問題点は認められない。</p> <p>一方で、今後は、言論NPOの活動が持つ役割や責任を果たすために、働く職員個人個人が、言論NPOが守り続けている中立性の意味をしっかりと考え、学び、今後このようなことが起こらないよう強く反省を求めると同時に、そうした職場環境をつくっていきたいと考えている。</p>	
③その分野の活動のターゲットの明確性	同上	同上	
コンテンツ判定基準項目	(5)会員等向けフォーラム、(6)ウェブ論壇・海外発信	B. その他、「言論活動等」の実施に必要な諸活動	
④その分野の活動に当たっての主要なコンテンツ形成活動に係る方法論の明確性			
⑤その分野の活動の方針決定に係るガバナンス及び透明性			
ア.編集権の独立が確保されているか			
イ.その分野の活動の方針決定が、そのメンバー構成が特定の政治的・宗教的立場に偏していない何らかの合議制機関(理事会or編集委員会、その他)の議決の下になされる仕組みが機能しているか			
ウ.当年度のその分野の活動のミッションや目的が関係者によって共有されているか			